

縄文スパイラルアートのビッグバンを！

— 縄文文様の解読と縄文芸術の秘密を語る —

【講演会】生命と魂のデザイン—日本の古縄文アートから現代縄文アート

日時 2017年 1月22日(日) 14:00~15:30

会場 岡山県立美術館ホール
(聴講無料/定員200名)

講演 猪風来(縄文造形家)

縄文土器は生命と魂であふれている。大自然と大地に渦巻く生命エネルギーが、無限に変転し増殖するマガタマの螺旋となって飛翔し、あの世からこの世へと万物の生命となって生誕する——それが縄文の世界観である。世界最古級の土器文化「縄文」は15,000年前に日本列島で始まり、12,000年間にわたって独自の造形美と豊かな精神性を開花させた。縄文土器の文様造形は、大自然の生命の波動に共振する心から生み出された「生命と魂のデザイン」なのだ。そして土器作りを担った女たちの祈り——母なる大地に生きるすべての生命の豊穡を願う造形でもある。猪風来は縄文造形家として、世界に誇る縄文の造形美の根源を究め未来を拓く芸術へと発展させるべく、40年間縄文芸術の道を切り開いてきた。ひたすらに縄文土器を創り野焼きし、縄文の体感と創造を実践する中で獲得した縄文スピリットと縄文造形理論——これまで語られることのなかった創造の秘密を初めて提示する。

